

平成 24 年度 京都大学生存圏研究所「ミッション専攻研究員」の公募

京都大学生存圏研究所では、下記の要領にしたがって、ミッション専攻研究員を公募します。

本研究所は、生存圏科学の共同利用・共同研究拠点として、人類の生存に必要な領域と空間、すなわち人間生活圏、森林圏、大気圏、および宇宙圏を「生存圏」としてグローバルにとらえ、その「科学的診断と技術的治療」に関する革新的学際領域の開拓と発展を図ることを目指しています。

ミッション専攻研究員とは、研究所の学際萌芽研究センターに所属し、生存圏科学の創成を目指した 4 つのミッションに係わる萌芽・融合的な研究プロジェクトに取り組む若手研究者のことで。

以下、人間生活圏から森林圏、大気圏、宇宙圏に至る 4 圏を融合させた生存圏学際新領域開拓のための 4 つのミッションについて記します。

ミッション 1： 環境計測・地球再生

地球大気の観測とその技術、木質の形成と遺伝子生化学的研究、木質資源の有効利用などの研究を深化させて、生存圏環境の現状と変動に関する認識を深めるとともに、環境を保全しつつ持続的に木質資源を蓄積・利活用するシステムの基盤の構築をめざすミッションです。

ミッション 2： 太陽エネルギー変換・利用

宇宙太陽発電所の研究、木質バイオマスのエネルギー・化学資源変換の研究を進展させ、化石資源の消費量を減らし太陽輻射およびバイオマスエネルギーを利用した再生産可能なエネルギー変換利用による持続的な社会の構築をめざすミッションです。

ミッション 3： 宇宙環境・利用

宇宙空間プラズマの研究を進展させ、地球周辺の宇宙空間の環境の探査とその探査技術の開発および宇宙自然環境・飛行体環境の定量解析、宇宙航行力学の研究、さらにこれらの環境下の木質素材の開発利用などの研究で宇宙空間を 21 世紀の人類の新たな生活圏に拡大していく研究基盤の構築をめざすミッションです。

ミッション 4： 循環型資源・材料開発

生物資源のなかでも再生産可能かつ生産量の多い木質資源に関する研究を深化・発展させ、生産、加工・利用、廃棄・再利用に至る各段階での低環境負荷型要素技術開発を行って、持続的循環型社会を実現するための木質資源の循環システムの構築をめざすミッションです。

詳しくは、**生存圏研究所のホームページ** <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/>を参照ください。

記

京都大学生存圏研究所 ミッション専攻研究員の公募要領

・募集人員： ミッション専攻研究員 4 名程度（平成 24 年 4 月 1 日採用予定）

・募集期間： 平成 23 年 12 月 8 日（木）～平成 24 年 1 月 16 日（月）

・応募資格： 採用年度の平成 24 年 4 月 1 日に博士の学位を有する者、または博士の学位取得が確実な者。
他に常勤の職等に就いていない者。

・任期： 平成24年4月1日～平成25年3月31日まで（任期は、原則として平成25年3月末日までですが、ポストが確保された場合、研究成果を審査の上、再任が可能。最長2年。）

・応募書類：

- (ア) 履歴書：氏名、生年月日、年齢、学歴、職歴、メールアドレス等
- (イ) 専門分野、関連ミッション、提案プロジェクト名
- (ウ) 研究業績リスト（原著論文、著書、特許、その他）および主要論文の別刷またはコピー3編以内
- (エ) これまでの研究活動（2000字程度）
- (オ) 研究の抱負（1000字程度）
- (カ) 研究の計画（具体的に記入してください。4000字程度）
- (キ) 応募者の研究、人物を照会できる方（2名）の氏名および連絡先

・応募書類の提出先：

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学 生存圏研究所 担当事務

（封筒の表に「**ミッション専攻研究員応募書類在中**」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留にすること）

・問い合わせ先： 矢野 浩之 yano@rish.kyoto-u.ac.jp

・待遇：

- (ア) 身分：時間雇用職員（研究員）
- (イ) 給与：時給2,300円
- (ウ) 勤務形態：週5日（土日、祝日、年末年始、創立記念日を除く）。1日6時間、週30時間。
- (エ) 社会保険：健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険に加入、
- (オ) 手当：本学支給基準に基づき、通勤手当支給

・その他：

提出いただいた書類は、採用審査にのみ使用します。

正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。

応募された書類はお返ししませんので、予めご了承願います。

以上